



Formula Project



©2000 High Ground Technology Institute

Plan proposal of all standards test F90

S.N.R.I.
STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE

【MSの原点に戻る】



▲開発技術担当兼プロジェクトリーダー
ジョブ・ジョン氏

■MS開発経験の無い弊社でありましたが、一年戦争当時RX-78の活躍を目の当たりにしていた弊社幹部ジョブ・ジョン氏がググゲンパイカーの思想を理解し、強力な開発体制を敷きました。

それは「MSの原点に戻る」ために…

■F90は技術担当重役ジョブ・ジョン氏のもと結成された開発チームに、アナハイム社と木星支社より招き入れた技術者グループを加え、チーフデザイナーにDr. アルマイア・ググゲンパイカーを迎えたメンバーによって開発されました。

■開発にあたり第一に、思い切って内蔵火器等の基本動作に必要な無関係な部品を一切排除し、必要最小限の素体としてMS本体を設計しました（後に自衛用バルカンのみ復活）。これによって極限まで小型・軽量化され、MS本来の高機動性を持つ機体となりました。

■第二に、目的に応じフレキシブルに装備を選択する機能です。そのために必要な装備を機体に追加外装するミッションパック方式を採用しました。

デッドウェイトとなる装備を持たないために、本来の機動性を維持できる上に、新型装備を追加装備の再設計だけで簡単に採用できます。

ただしこの方式では、可変MSのような単体全領域対応能力を持ってない。しかし、主力級MSが支援無しに単騎で多領域戦闘をする事は有り得ないため、了承された。

また、Gディフェンサー等同様の例があるが、Fシリーズでは機体と追加装備のトータルシステムで同時開発されており、きわめて効率の良い物になっております。



■その他にヤシマ重工から、金属中に発生させたミノフスキー立方格子にそって異種結晶化結合を成長させるマイクロハコカム技術を手に入れ、ガンダリウム合金等、従来の無格子欠陥金属以上の強度を達成することができた。

これにより従来より30%薄いムーバブルフレームや装甲が導かれ、重量軽減の大きなポイントとなりました。

■ジェネレータはMS用小型高出力品が無く、代替品として軌道周回レーザー用に協力会社が開発したものを二基搭載。MS用に耐久性を上げる必要がありデチューンしたために、予定出力を割り込んでいますが、F90のフレームに収まるサイズながらノーマル出力で従来と同等、ミリタリー出力で1.5倍の性能を誇っており、全体の小型化とあいまってF90に真次元の機動性を与える主因となっています。

■ミッションパックは26種類に及び計画があり、各セクションにおいて設計・開発が進められています。（他ページにて、図解付きで解説が入ります）

■上記の高性能機体を制御するために大処理能力コンピュータが必要になりますが、MSで初めてシナプスプロセッサ数100万以上のホロ・キューブ処理系を搭載しました。これ一基で機体のみならずミッションパック全種類の管制を行う事ができるようになります。

■通常のプログラミングが不可能なため、プロセッサ上に擬似人格知識ベースを構成し、過去のMSデータを入力した教育型コンピュータと対戦シミュレートすることでシナプス結合のプログラムを行っています。

なおF90搭載機は試作機で、さらに処理能力を上げた量産型を開発中であります。

F90

■F90単体は、さむてめて機動性に富む「格闘戦仕様」MSである。標準装備としてブームライフル1門、ビームサーベル2本、フールド1基を装備する。

■さらに、ミッションバック換装による兵器でもある。これは単なるオプションシステムではなく、同一機体が性格の異なる別種のMSになるのである。そのため、独立したサブタイプ分類で呼ばれている。

■各武装はラッチ部に設けられたデータハイウェイにより、F90のメインコンピュータに自動的に認識される。したがって、装備変更による再プログラムは不要で、必要ならば各サブタイプ装備の混載も可能である。

■また、F90は様々なデータを収集するための実験機故に複数機用意しており、擬似人格コンピュータとも呼べるオペレーティングシステムを個々に搭載している。1号機にはType-A.R.、2号機にはType-C.A.を搭載。ともに特性の違うOS故に、多ジャンル、カテゴリーにわたり豊富な実験データをもたらしてくれることは、想像に難くない。

■特に2号機に関しては次世代型MS開発を視野に入れて現実的な改修案もすでに提案されており、意欲



▲1号機 (Type-A.R.) 搭載機



▲2号機 (Type-C.A.) 搭載機

■実験機のF90は性能検証用のワンメイクモデルMSであり、実験機MSである。検証実験をしていく中で使い勝手や生産性を改善し、新しい種類の小型MSの試作機を開発後にさらに洗練し量産化していく流れの大元になる。テストの結果が良好だったミッションパックのデータを基に目的に不必要な部分を整理した新種の単体のMSとして再設計され、試作機が製作される。

■フォーミュラ計画の性能実証試験であるミッションパック検証試験において、F90は実験部隊として地球連邦軍の第13実験戦団に編入される。アドミラル・ティアンムを旗艦に、RGM-89J ジェガン（1型）の護衛の下、試験を行うこととなる。

■なお、F90のデータ収集および試験空域の早期警戒を目的として、ジェガンをベースに改装した機体RGM-89S2 STガンを使用。

■実験試験における支援機に、AMS-119 キング・ドローグ改を使用。

主として 大型MSとの戦闘や性能比較検証などの任務に当たる。



▲RGM-89J ジェガン（1型）



▲AMS-119 キング・ドローグ改



▲RGM-89S2 STガン

F90A S.N.R.I.

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE

F90

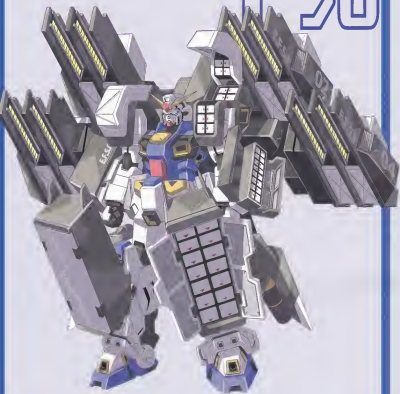


長距離艦優攻仕様（Assault）のミッションバック。

高い機動力を生かして敵陣深くに侵攻し、重要拠点をピンポイント攻撃することを目的として開発された。機動ユニットに設置されたマシンキャノン、ビームキャノン各2門と、後腰部ウェポンラッチに携行したメガビームバズーカで攻撃を行う。腰部左右のハードポイントには、メガビームバズーカ用の予備Eバックを装備する。ミノフスキークラフトにより、大気圏内航行も可能である。

F90B S.N.R.I. F90

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



砲撃戦・総砲撃仕様（Bombard）のミッションバック。
全身に装着されているミサイルコンテナはミッション毎にミサイルの種類を変えられるようになっている。背中の板状の装備は小型レールガンで、合計 2×4 基搭載されており、爆撃時敵機に対して牽制砲撃を行える。メインブースターは背中と両脚、サブブースターはレールガン機に搭載。ミサイルコンテナ・レールガンユニットは使用後、デッドウェイトになる場合は任意で本体に損傷を出すことなくバージする事が可能である。
突破力はあるが持続力が低い為、ミッションによっては僚機によるサポートが必要な場合も考えられる。

F90c S.N.R.I. 500

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



寒冷地仕様（Coldness）のミッションパック。オプション兵装に依存するF90の特性上、通常の寒冷地仕様機に施される氷結・防寒処理は非常に困難であるが、その解決策として機体全体を特殊織物で編まれたマント（若干ではあるが対ビームコーティングを付与）で覆うことにより機体と外気を遮断し、機体温度をマント内である程度保ちつつ、船源探知による発見率を抑える事にもなった。また、肩甲大型装甲内にミスト産卵装置を内蔵し、視覚に

よる発見対策に資与。腰部に姿勢制御などに用いるワイヤーアンカー射出機、脚部には後部にブースターを内蔵したスノーボード状の雪原移動用パーツを装備。寒冷地ではビーム兵器の運用効率が悪いため、実弾・実体剣を中心とした装備として装備として新開発の試作ショットランサーを主兵装とし、敵に接近されず遠やかに接近、リーチの長いランサーでの奇襲戦法を基本戦術とする。

F90D



接近戦仕様（Destroyed）のミッションパック。

敵勢力に対する面制圧を目的とする。

通常は主要目的を制圧後、格闘戦に入り敵を掃討する。

銃機関砲、MS クラッカー、グレネード、ロケット弾など、瞬間最大火力を重視した兵器と、高い機動性能を併せ持つ。

この図の装備も一つの案として構成されたものである。

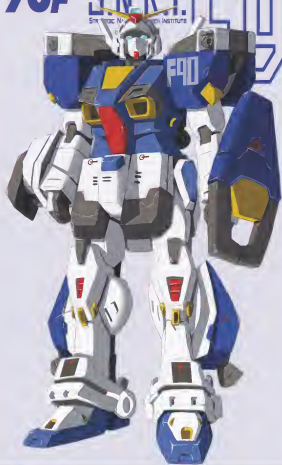
F90E SERIES 00



電子戦仕様（Electric）若しくは早期警戒・索敵仕様（EWAC）のミッションバック。センサーアレイとブースターを各所に増設し、高度な各種電磁波・光学観測能力と、小回りを犠牲とした高速度性能を付加する装備。

脚の速さを活用した高速度選考強行偵察・情報収集・解析・通信確保などを主任務とする。火力には乏しいが高度な索敵能力により、副次的にミノフスキー粒子ジャミング下でも古典的なレーザー誘導ミサイルを運用でき、最低限の自衛用兵器として、腹部にミサイルを装備している。

F90F SNRI F90



格闘・白兵戦仕様（Fight）のミッションパック。
新型ビームサーベル「ビームブレイダー」が最大の特徴であり、ビームシールドと同じ発生装置を使うことで、高圧縮されたビーム刀身を形成可能にしている。
これにより格闘戦において絶大な切断・突貫能力を有し、その威力は開発中のビームシールドを突破することが可能である。
機体各部に耐ビームコーティングを施した追加装甲を取り付けることで、防御の脆弱性を補っている。アンカー付き小型シールドを持つ。

F90G S.N.R.I.

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE

F00



近衛・護衛仕様（Guards）のミッションバック。頭を装備しない代わりに、胴体各所に設置されたスモークディスチャージャーから煙とともに、敵の戦艦機甲を完全遮断するほどの、高濃度のミノフスキー粒子を散布する機能を持つ。こちらの索敵機能も仕様不可となるが、右肩に装備された特殊なレーダーを使うことによりチャフの効果軽減し、ほぼ一方的に敵を攻撃することが可能。武装は、メガビームショットガンを装備。

一発に使用するエネルギーを多くすることにより、敵弾破らしからぬ貫通力を持つ。このため、中距離戦においては極めて高い攻撃力を誇る。胸部に設置されたプロペラントタンクは、この攻撃力を維持するために設置されている。補助的な武装として、左肩には連装ビームマシンガン装備。ショットガンのチャージ中にも的に絶やさず攻撃を継続することができる。

F90H S.N.R.F. 500

STRATEGIC NAVAL RESERVE



局地戦仕様（Hover）のミッションバック。

陸上における機動戦闘仕様である。

一年戦争時のMS-009ドムのホバー走行を参考にし、目標に対する一撃離脱戦法などを主眼とし開発している陸専用機動戦闘タイプである。

ホバーにより地形の影響を受けにくく高速移動できるため、追撃戦などでもその威力を発揮する。

F90, S.N.R.I. F'90

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



迎撃・追撃仕様（Interceptor）のミッションパック。
ブースターを内蔵したフライトシールドと称する大型シールドと、脚部に装備する推力増加ユニットにより高い機動性を有する。
ショットランサーとは別カテゴリーで開発されたビームランサーを装備。
装甲を通常のガンダリウム合金セラミック複合材から、チタン合金灰セラミック複合材にする代替案も検討中。

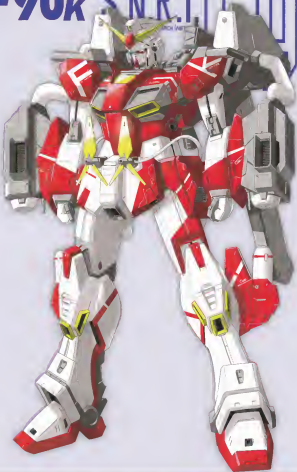
F90」 SAR F90



追加・増設装甲仕様（Jacket）のミッションバック。

MS強化案として過去より開発される、フルアーマー装備の性能実証試験用装備である。それ故に機動性に関してはあまり考慮されていないが、通常機動時の20%減で収まっている。その追加装甲は、かつて大出力を誇ったAE観光束マグナムの直撃を受けても耐える強固な造りになっている。両腕、両足の装甲にはEバックが内蔵されており、長時間の可動が可能になっている。両腕に内蔵されているビームガンは、ビームサーベルとしても使用可能。武装は頭部バルカン、肩バルカン、腕部ビームガン、ビームサーベルのみである。

F90k SNRI F90



防御・持久戦仕様（Keep）のミッションパック。

全高 15m 級の M5 でもフィールドを安定使用できるよう考案された装備。肩腕に装備したフィールドジェネレータを交互に使用することによってビーム攻撃を防ぐというアイデアが盛り込まれたが、冷却系に負担が高く連続使用出来ないなどまだまだ実用段階ではない。また、ビームを弾く膜が不安定であるため腰前部にコックピット保護用のビームリフレクターが装備されている。

標的機という試験の特性上派手なカラーリングに変更されている。

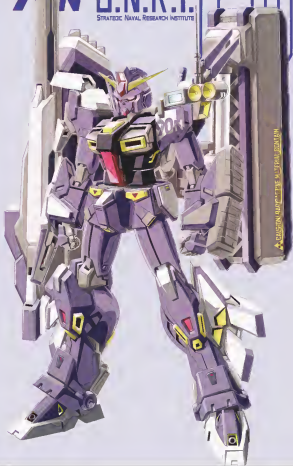




水中戦仕様（Marline）のミッションバック。
背部バックパックを大型ハイドロジェットに換装し、コンバットナイフ、水中銃、魚雷などを装備する。
F90 本体のノーマルバックパックをそのまま使用する、簡易型の装備も可能。
最大潜行深度は 400、で、MSM-03 ゴッグの 106 倍、最大潜行速度（原典では最大潜行深度とされている）は 90Kt で、ゴッグの 1.2 倍である。

F90 N S.N.R.I. F900

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



戦術核運用仕様（Nuclear）のミッションバック。

開発責任者であるI=イマヤの運用思想として「背部コンテナには10発の核弾頭が収まっていて、それを大型レールガンを用いて目標に対し全て撃ち込む！目標は壊滅する！爽快だろう！？」を体现する装備である。

この装備は極秘扱いのため、Fシリーズの時期装備開発と偽装して開発を進行中である。



指揮官・隊長機仕様 (Officer) のミッションバック。前脚の高濃度ミノフスキー粒子状況下における範囲攻撃、連射攻撃を重視した指揮官用装備である (低濃度の粒子状況下ならば、広域指揮官機としての運用も可能)。高い通信能力、敵艦の戦況変化に適合するための優れた機動力、距離を測らず使用可能な大型マルチビームライフルなどが特徴。また、指揮官制用の電子装備以外、特化した物を持たない万能型ゆえ、部隊構成などの現場判断による組み換えが特別意識されており、手持ち武器や

バックパック左右の装備が異なる場合も多い。特徴であるマルチビームライフルは両手持持で運用する。中・遠距離での運用を想定したロングライフル形態と、近・中距離、格闘戦に対応するマシンガン形態に変形が可能。加えて、どちらの形態でもバックパック施設ジェネレーターのエネルギーケーブルを接続する事により、威力を倍増することが可能である。肩のビームサーベルにも同様の機能が設けられている。

Formula 90 I.I.

(Innovative Improvement model)

The next generation package makes new possibility.

In option, we have plan not only for exchanging various parts but also raising the standard of suit body performance.

Little suit with unique identity is born by it equipped a more improved generator and the computer of revolutionary concept.

The creates a new era of mobile suit, it is...

SHINOBAR



Demonstration Color



Formula 90 I.I.



Formula 90 I.I.



The Early Model



運動性能強化仕様（Quick）のミッションパック。

2号機への搭載を想定したこの装備は“赤い彗星”の戦闘スタイル、長距離からの急速接近、高速戦闘、強襲作戦への参加を想定しており、各部に取り付けられたハイトルク・スラスターによりパイロットへ多大な負荷をかけ、異常といえるほどの急速旋回性能を得ている

F90R



偵察仕様 (Reconnoiter) のミッションパック。
偵察兵器としては Eタイプに若干劣るものの、この装備
では主に威力偵察を主眼にしている。
また、発見され迎撃されることがあっても、ノーマルパッ
クパックの代わりに背面に装備する試作モジュール
「オーバーハングバック」の大出力ブースターにより、現
行MSの追撃を軽く振り切ることが容易である。このオー
バーハングバックにはサブジェネレーターが搭載されて
おり、このモジュールに装備されている長距離メガビー
ムキャノン、理論上は最大出力で戦艦を一撃で沈める

ことが可能である。
この装備の最大の特徴は、他MSや戦艦とレーザー誘信等
によりデータリンクを行い、超長距離射撃の中間スポッター
として機能することである。ミノフスキー粒子が濃い領域
であっても、着弾地点へ精準に導くことができる。
自身も迎撃のための試作高出力収束ロング・ビームライ
フルを持つが、前部ユニットと相まって取り回しが非常に悪
く、格闘戦には不向きである。

F90s ENR.I. F90

STRATEGIC INSTITUTE



長距離支援仕様（Support）のミッションバック。
長射程メガビーム砲、ハンドキャノン、汎用誘導ミサイル、目標の形態情報を確認し自己誘導するクルーズミサイル等の長距離兵器と長射程用の複合照準器を持つ。射撃の反動を吸収し精密照準を行うため両肩が固定され、支持ジャッキにより機体が保持される。

F90T S.N.R.I. 700

SPECIAL NAVAL RESEARCH



追跡仕様（Tracer）のミッションバック。
全身に設置されたセンサー類により広範囲を索敵可能である。敵機を発見した際には、大容量のスラスターにて一気に距離を詰め、主装備であるランスにて貫くという戦術スタイルを持つ。
その広い索敵範囲を活かし、主に「偵察機」の存在を先に察知し追跡、ランスにより敵機の中核部を傷つけずに破壊し情報を得る」という運用思想のため、開発チームでは「偵察機殺し」と呼ばれている。

F90u



性能向上仕様 (Up-Unit)。開発コードは「Unicorn」。
サイコミュ及びサイコフレームの性能検証のため封印されていたユニコーン計画を元に発案された。
他の装備と違い武装はほとんど追加されておらず、各部にサイコフレームの端と背面に簡易化されたアーム
ド・アーマー XC を背負うのみである。
対 NT 戦での支援戦闘 (サイコミュによる預的、サイコミュジャックによる敵 NT 兵器の無力化など) を目
的としたが、同時代において敵性 NT、ましてサイコミュ兵器を搭載した M5 との戦闘が発生することは非
常に稀であること、サイコミュに関しては謎の部分が多くそのほとんどが解明不能なことから、本装備の開
発を再検討中である。

GUNDAM
F90

E.F.S.F

GUNDAM F90-type

CAUTION

The model is designed as a
prototype and is not
intended for use as a
reference model.

CAUTION

The model is designed as a
prototype and is not
intended for use as a
reference model.

GUNDAM F90-type



新型火器試験仕様（V.S.B.R.）のミッションバック。

新型のビーム兵器であるヴェスパー（V.S.B.R.：Variable Speed Beam Rifle＝可変速ビームライフル）と、ビームシールドを装備した新型火器試験タイプ。次世代機の設計を基に各火器の先行テストを行うべく開発されたモデルである。

バックパックに内蔵したサブジェネレーターにより、大量のエネルギーを必要とするヴェスパーとビームシールドを同時に使用できるが、機体の状態によってはシールドのビームの形成が不安定になる場合もあり、以後の課題となっている。

また陸界移動時の排熱に対処するため、両肩および両脚部にスタビライザー兼用の放熱フィンが装備されている。

F90w S.N.R.I. F90

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



開発コード：ウォーワード (Warword)

元来宇宙艦艇に搭載されていたミノフスキードライブを小型化しM5に搭載する計画へ向けて開発された機体ユニットである。駆手の操作性と航行時の出力制御の調整を腕・肩・腰部に各々4層づつ計8つの小機体に分装させた。計8層の翼は相互に高速推進と制動へ振り分け使用される。データ収集専用の形態のため、対M5戦を想定したビームライフル・シールド等の武装は削除されている。一方、牽制出力として両肩関節からメガ粒子が放出される。

これによってF90wは海外高速航行時にX字状の“光の翼”を

形成する。またそれを連続発射させ収束点によって狙撃用のビーム砲撃。対M5格闘戦用のビームサーベル。戦艦の主砲も受け止める広範囲ビームシールドの形成が理論上可能である。もし実装搭載した際にはWタイプは機動性と攻守色絶両面が共に秀でたM5になったと考えられる。

しかし、開発完了後、ガンダムF90に搭載されることも無いまま“W”ユニットは解体された。その基礎設計技術だけがF99レコードプレイヤーのMD機構へ継承され、さらなる小型化にも成功した。

F90x S.N.R.I. F90

STRATEGIC NAVAL RESEARCH INSTITUTE



開発コード「Xtra」開発名「プログレスガンダム」

本機はコロニー内戦闘・警備を主眼に置いた試作MSである。コロニー戦闘に不向きである強力な高威力武装を排除し、ショットランサーの採用によりコロニー内戦闘において外壁への損傷が小さくすみ、容易に敵性勢力MSなどを掌握できるようにしている。また、次世代主力MSのための整備性や運用コストを考慮して設計されており、開発においてのテストベッドである本機は、サイド2支部サナリィ総合技術検証班が開発を進めているMSである。

特徴としては、頭部の新型センサーと右腕に装備された3連ビームストリングスである。特に、ビームストリングスはコロニー内戦闘において非常に有効である。

S.N.R.I. F90

F90y



開発コード「Youngstar」

開発名「クラスターガンダム」

未完成である F90 三号機のパーツを素体として開発している。コアブロックシステム再現のために開発を進めている MS である。本機の場合は F90 バックパックと Y タイプバックパックユニットとが異なり、Y タイプバックパックユニットの真中にはハードポイントが無いが、他のハードポイントは使用可能である。一号機・二号機用のノーマルバックパックや、他のミッションパックのバックパック

ユニットでも換装可能である。

さらにバックパックを取り外して、MS 単体としての能力を研究する期待でもある。つまり、クラスターガンダムも他の F90 と変わらず、どのミッションパックも従来どおりに運用可能である。

本機のコアブロックシステムは、Y タイプミッションパックのバックパックと換装することで、コアブラスターとしても運用できる。



S.N.R.I. F90

開発コード「F0-No.1 ZERO Type」

フォーミュラ・ゼロ（F0）シリーズの概念実証機で、最終には完全無人化したF90を造る。

無人機にしか不可能な高機動性を引き出すことを目的とし、バックパックと脚部補助スラスターを高機動タイプに換装している。また、F0とは別に、Zero-gravity Extensions! Retractable Offensive-operation module：零重力用拡張式攻撃（作装）拡張モジュール（文部、あるいは各機文字による別字略でZER0）という機体名が存在し、こちらはF90シリーズ共通のハードポイントに装着可能であり、大座光束シールド、大座光束サー

ベル、高周波ビームスマートガンなどの武器に加え、格納式大型アームと重量の増加を許す補助エンジンとバーニアスラスターを備える。

格納式大型アームの肘関節部分に備えられたスラスターは、収納時は通常の補助スラスター、展開時はガンダム Mk-Ⅱやヘイズルシリーズの装備するシールドブースターと同様の機能を担う。

プロペラントタンクを増設した機は長期暴走能力と連続射撃時間に優れ、大座アームを使用した作業能力も持ち合わせるため、将来的には無人による長期哨戒の外宇宙探査などへの使用も期待されている。

各装備担当者コメント（※敬称略記）

A...vivi pixivID=861684

F90Aを懸念しましたviviです。アサルトタイプの肩パーツ、集弾1替段あまりリアル感身は悪くないので思わぬところで苦労しましたが、寧ろ良かったと思います。

B...モトタロ pixivID=1321625

はじめまして、モトダロと申します。今回、F90 のミッションパックを全て表現するという素晴らしい企画に参加させていただきました。今回の企画、色々な方が描かれている F90 及び機体が収録されていますので、御自身、御愛機としてもうすぐ楽しみます。

C...DRD pixivID=476603

恵市朗義典が思いつかなかったのが「雪たまるまに変形して 竹片月明暗わないで生き延びた」ってやはりそ気味なのを考えていましたが、恐
れられそうなので止めました。

0---6and pixivID=345699

ちなみに、Gundamと申します。お若い貴客デストロイールの名前に負けない様に盛り盛りしてたらガンダム機種のF900になってしまいました。(シル
エットでゴクくしたら機体が出るだろという伝説女乗るじより) 々に着くガンダムはかなりレベルが高かったです...乗りたいと聞いて!

E...六角彈火 pixivID=52645

分式微分とは違った方向性で書いてみました。こんなE-90E、いかがでしたでしょうか？

F、X…イオンのバインド [plx/vID=9181](#)

イオンのバイト申します F90 じゃないですね でもいいよね
これから間違えたいと思います

5...ネオジョン [pixivID=12525](#)

完結しないかと思いましたが、A.H.の力でもなく、ガンダムの力でもなく、俺の力で完成させました。いろいろな面が見えて面白かったです。ちなみに個人的には火曜独立番仕様の F90 が好きです。

H...知己ハルキ [pixivID=70055](#)

H 頑張って、ハイパー芸術家と思ったら、すでにネバータイプがあると気づいたのは、結構遅い時でした。もっとリアルタイプ上手く振舞うになりたいわー

1...文月ほむろ pixivID=650474

実は最初から異色っぽくしてしまえ、と言う意図がありました。その為に、ウィングを展開させた状態で、背中にシールドを背負わせた姿勢であります。肩の追加パーツの装飾的な形状なども揃って、それらしく見え——てたらしい女々。

小…ヨシタカ pixivID=1204100

HGもしくはHGで出たらをテーマにしアレンジして描きました。装甲はフルアーマーガンダムやデュエルガンダムASのを元に5号機、HNMジロロを参考に、本体の脚の色が黄一色では寂しかったので黒と白を反しました。

K、キラ・ドーガ改…ASH [pixivID=855878](#)

今回F90Kとブラウードーが改修されました。数あるミッションパックの中でもニュースが読みづらい装備ですが防衛向けとする声が多かったのでピームシールドの斜紋真鍮なイメージで制作してもらいました。光ネタのX3の時点で完全に完成化されていないので作業はさらにお断しという感じで(苦笑)

L...紙コップ pixivID=44579936

今回のアタリ本に追加するべく、1型にトライいたしました。いづ、書いてみますと、設定だけではお読み取れない箇所も多くありましたので、再現用のキットを
組み立てて資料にしました。バブルワールドなどは、簡単に完成せずに、何度もアクセスし直すように思えると思ひます。なぜかのは無いですが

L、F9D II、ジェガン」型…日羽工業 pixivID=426085

こんにちは、白濁工場です。全盛期の国産機で色違いっていいですよね。

M...アサトー [pixivID=7852](#)

F90 を置く機会をいただけて感謝しています。マリンタイプはけっこうマイナーで資料もほとんどありませんでしたが、それだけでもっとイラストを増やしたりは本当に感謝する人が多かったらしいのになーと思います。

N : あゆみ'n...[pixivID=1304534](#)

ルタイプは、**web**と読むだけでも、Web上の特典がいろいろあるが、その中から数点をチョイス。毎回の抽出方法をレールガンに、換行数を数数数「コンナチ」で決めました。太く短くだいたい。ポイントがつかえたので、レールガン・コンナチ・両面を撮影・撮るイメージで書きました。
 前とは少し違う！という感じがするけれど、本巻に収録する2冊のカラーリングにしてみました。

D...sibelurabbi pixivID=740334

0.9.E 型で電力振り回れるになるので、悩んだ挙句、エース機の側面を良い方向にしました。ちなみに赤くて二コ機振動なのは、Type-C.A 的な振動音イメージがすごいです。真似し方は Rivy のほうに改めさせていただきますので、気になった方どうぞ。

Special thanks...VOLF pixivID-119441

P…KAZE pixivID=32034

この場で参加させて頂きましたKAZEです。F90の中でもPというユニークな設定ですが、やはり真の真の機体はWRといえども良いですね……真大好き。上手くその魅力を表現できたか知りませんが、描いて楽しかったです。毎月さんお疲れ様！

P…草月 pixivID=788257

Pが描いて一番最後まであれこれしてました。子供の頃からそんな風景を覚えてたのですが、この企画でもやっぱりPが最後まであれこれしました(笑)。ちなみに一番最初に売り切れたのはVでした。少し地味なPですが、実はスゴイ奴なんです？

Q…PaintedMIKE pixivID=722851

実は草月さんの同人展に参加決定した事、が前の去年半分の過ごし方を決定したので。一年前はロボット展けなかった私がこんなにきてガンダムですが、第2、第3の「ア・バ」が読める！そんなイメージで考えました。

R、ジョブジョン…わさび pixivID=1050930

R型とジョンジョブ型わさびちゃんです！生まれて初めての同人展参加です！ガンダム好きなので初めてガンダムでよかった……責任とってよね

S…さくさくさくらい pixivID=1393103

意図はオリロをメインに描いていたのでガンダムをまずどう描けばいいのやらというところからスタートだったのですが、試行錯誤で楽しく描けました。S型は流石のデザインがありますが、それを踏襲しつつマクロスのパルキリーのスーパーバック的なエッセンスを加えてみました。

T…ごみ屋 pixivID=778260

F90Tタイプを担当させていただいたことお返しします。「設定上では存在しないF90もタイプをみんなで作ろうぜ！」というのをお題にいただいたのですが、いざ取り掛かってみると、機体のイメージを壊さず、かつ機体のコンセプトをうまく表現するのが大変でした。楽しんでいただければ幸いです！

U…ゼカ=ギナ pixivID=-----

どうも、塗りずがりのゼカ=ギナです。

V…赤魂 pixivID=23787

F90のVタイプを描かせて頂きました！元から設定がある為何か欲しいと思い、ディテールを追加してアレンジしましたが一瞬F90に見えるかどうかでちょっとの配ですw次にF90本みたいなモノを作るとしたら今度はオリジナルデザインもしてみたいですね。

W…灯草 pixivID=712509

コンセプトは絶頂編でV2Gをレコパレ的に4枚描く。ポーズはゴトラタン編のラストアタック。変形・デザイン・エフェクトをもっと凝縮して描けたらよかったのですが……ナマモノばかり描いてる最中に大変勉強させていただきました。

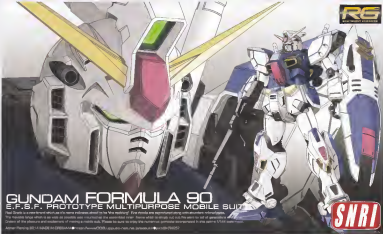
Y、Z：HeyZAN…pixivID=911829

はじめまして。今回YとZを描かせていただきました。Zは完全でっちゃん上げ、そのうえ機体ということで意味なものは描けないという設定した結果Zでノガンダムになってしまいましたが、「これもアリカ」と楽しんでいただければ幸いです。これ期多くの方が参加する自治体に初参加できて光栄です。

ST ガン…差し機 pixivID=1321625

センサーターレットとかSTRATEGIC TREATERとかSTガンを描かせて頂きました。STジェガンの要素を盛り込む事も考えましたが、UCで描いたり高機動機体の描いた各機STジェガン設定を参考に、0型等以前に設定された機体なので胸プロトスター機要素多めに描く方向で挑戦しました。





あとがきみたいなもの

■初めましての方も、お久しぶりな方も、今回はこんな頭の悪い企画本を手にとっていただき、誠にありがとうございます！本当に感謝感激涙あられ！！

■F90の装飾を全部磨きようって言うこと自体はかなり前から考えてたんですが、自分独りでやってたら時間がかりすぎるうちに、デザインや解説が偏りすぎて面白くないと言うのが弱点だと薄々感付いておりました。なればメカ描ける人、メカ描けそうな人にお声を掛けさせていただきました。無理なお願いをさせてもらった方も居ますが、幸いにして皆様快諾していただき、こうやって一つの可能性を示した本が完成しました。関係者の方々にも改めて、ありがとうございます！

■さてこのF90ですがかなり不遇な子でして、近年の立体化ラッシュにもラインナップに入れてもらえず、数年前のホビーショーでもMG枠で参考出展されたものの、それ以後音沙汰無し…。旧キットがやっと再版されたのが幸いです、それでも他の子たちがうらやましいですね(笑)

■実はこの旧キットに封入されている組立て説明書、これがなかなか読み応えのある物でして、資料製もかなり高いものになっています。この本の大部分も、その文章をベースに構成しています。この本で興味を持てただければ、F90三兄弟も少しは報われると思います。

■今回のこの企画本においてはただでさえ資料の少ない中、絵描きさん達に描いていただいた素晴らしい作品の数々、楽しんでいただければ幸いです。

■それでは、また会えることを夢見て…

F90 関連の企画、まだやるよ？

[FormulaProject]

[ArmorPiercing]

発行日：2014年8月15日

印刷：グラフィック 様 (<http://www.graphic.jp/>)

H P : <http://www003.upp.so-net.ne.jp/satuki/>

pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=788257>

